



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.18



～平成 29 年 6 月 現場見学会を実施しました～

◆現場見学会

今年も平成 23 年度から実施している現場見学会について、淡路駅近隣の 2 校の小学生を対象に行いましたのでご報告します。

平成 29 年 6 月 13 日(火)に市立西淡路小学校の 3 年生児童 (69 名)と、6 月 14 日(水)には市立東淡路小学校の 3 年生児童 (61 名)を対象に、次の内容にて開催しました。

○目的

- ・「まちづくり」に対する関心を促し、事業の目的・効果などについての理解促進
- ・事業に対する親近感の醸成
- ・工事用車両への注意喚起や踏切の安全なわたり方など安全啓発

○実施内容

児童のみなさんには、淡路駅の工事事務所にお越しいただき、大阪市と阪急電鉄(株)の担当者から「淡路駅周辺で進められているまちづくり」や「高架工事の概要」などについての説明や、「踏切の安全なわたり方」などの安全啓発を行いました。また、現場見学会として、ヘルメットをかぶって阪急電鉄千里線に出来上がっている高架構造物(地上約 21m、7 階相当)の上へ登ってもらいました。

児童達は元気よく、工事に関するクイズに答えたり、高架構造物の上から自分たちが暮らす街の様子を見て、高架構造物の大きさに驚きながらも、笑顔があふれていました。工事担当者から直接説明を聞いて、事業を身近に感じてもらったのではないかと考えています。

今後も沿線の小学校を対象に継続した取り組みを進めていきたいと考えています。

講座の様子



高架構造物の上で見学している様子

